定例教育委員会会議録

（平成３０年２月９日開催）

岡谷市教育委員会

定 例 教 育 委 員 会

日　　時　平成３０年２月９日（金）
　　午後２時００分
場　　所　２階２０２会議室
署名委員　草間職務代理者　橋爪委員

【 次　　第 】

○ 開　　会

○ 教育長報告

○ 議　　題

１．岡谷市立小・中学校管理規則の一部改正について【資料No.1】　（教育総務課）

２．学校給食の現状と取り組みについて【資料No.2】　（教育総務課）

○ 報　　告

１．岡谷市立小中学校における外国語指導助手等派遣業務プロポーザル実施要領について

【資料No.3】（教育総務課）

２．岡谷市議会１２月定例会一般質問要旨について【別添資料】　（各課）

○ そ の 他

・行事等について（各課）

・その他

【次回開催予定】　３月９日（金）定例教育委員会　１３時１５分　２階　２０２会議室

出席委員
教育長 岩本　博行、職務代理者 草間　吉幸、教育委員 橋爪　園美、教育委員 太田　博久、
教育委員 髙木　千奈美、教育委員 藤森　一俊

事務局（説明員）
教育部長　吉澤　洋人、教育部教育担当参事　三村　靖夫、教育総務課長　帯川　豊博、
生涯学習課長　小坂　英之、スポーツ振興課長　小松　厚、教育総務課統括主幹　山田　勝由紀、
生涯学習課統括主幹　小口　喜照、教育総務課主幹　高橋　卓、教育総務課主査　保科　圭吾

○開　　会

岩本教育長：　みなさんこんにちは。大変お寒い中お集まりいただきありがとうございます。それでは只今より定例教育委員会を始めたいと思います。本日の署名委員は草間職務代理者さんと橋爪委員さんにお願いをいたします。最初に私から教育長報告をさせていただきます。

○教育長報告

今日は、各課それぞれ１点ずつ報告をさせていただきます。

１．小中学校におけるインフルエンザの状況について

年末年始休業が明けました、新学期早々の１月１２日、西部中学校１学年２クラスのうち１クラスにおいて、インフルエンザ及びその疑いによる欠席者が多数あったため、学級閉鎖といたしました。

この頃から、全国的にも猛烈な勢いでインフルエンザが流行してきたこともあり、教育委員会としましても、感染の拡大防止と予防の徹底につきまして、１月１６日に全学校へ注意喚起を行い、児童生徒には、うがい、手洗いの励行等予防策を各学校において指導してまいりました。

しかし、感染力が強く、市内の小中学校においても、インフルエンザの感染やその疑いにより欠席する児童生徒が急激に増えてしまいました。

また、岡谷市だけではなく、県内、また全国的にインフルエンザが猛威を振るっている状況であり、長野県においても１月２４日に「インフルエンザ警報」が発令されたところであります。

今日までの間、市内の小中学校におきまして、北部中学校、東部中学校以外の７小学校、２中学校の延べ２５クラスで、最短で１日、最長で土日を含め５日間の学級閉鎖を行い、児童生徒への感染拡大を最小限に食い止めたところであります。

今日現在では、お陰さまで学級閉鎖をしている学校は無く、少し落ち着いてきている状況であります。この時期、中学校では、高校受験を控えた３年生もおりますので、改めて学校や家庭での、うがい、手洗いの励行、マスクの着用や、若干でもインフルエンザの症状がある場合には、すぐに医療機関へ受診するなどの指導を行い、より一層のインフルエンザ感染予防対策を図ってまいりたいと思っております。

２．市民総参加での生涯学習の推進について

年度末を迎え、生涯学習に関連する団体の役員会や総会が開かれています。岡谷市の生涯学習は、大勢の市民の皆さんに支えられておりまして、この時期各団体で「役員の改選」も行われています。岡谷市独自の「子育てミニ集会推進責任者」は、一昨年に「子育てサポーター」と名称を改め、新しい会長のもと、より有意義な研修会等を開催し活動の幅を広げています。

また、子ども会育成連絡協議会も、長年の会長さんが退任され、この４月より新会長のもと新しい体制がスタートするとお聞きしております。

さらに、少年愛護委員協議会でも、古くからの慣習的な規程を見直し、時代に合った形でショッピングモールやゲームセンターでの見回りや青少年への声がけなど地道な活動が続けられています。子どもたちを取り巻く環境は常に変化し、厳しさを増しています。常に新しい視点から、多くの声と力と結集し、岡谷の子どもたちを見守り、育てていきたいと考えております。

３．全中、インターハイ、国体のスケート競技の結果について

第３８回全国中学校スケート大会（２月３日～６日）は、エムウェーブで開催され、市内３中学校から５名が出場し、４名の選手がそれぞれ決勝へ進出し、健闘をいたしました。

全国大会へ出場したメンバーは、４中学校合同部活動やスピードスケートトータルサポートクラブ、アリーナでのインドア練習会等に参加し、トレーニングを積み重ねてきたところであります。

第６７回全国高校スケート大会（インターハイ）（１月２３～２６日）は、山梨県で開催され、昨年度、全中スピードスケート競技５００メートルにおいて優勝した岡谷南高校１年の倉坪克拓君が、同種目において３位に入賞するなど、南高選手が、４種目において入賞を果たしました。

第７３回国民体育大会冬季スケート競技会（１月２９日～２月１日）は、山梨県で開催され、岡谷市関係の選手、監督が８名出場しましたが、そのうちショートトラック少年男子で岡谷南高校２年の小池克典（こいけ　かつのり）君が、５００メートル、１，０００メートルの２種目を制したほか、１年の倉坪君が１，０００メートルで２位、倉坪君と２年生の菊池岳仁君が出場した２，０００メートルリレーでも、長野県チームが２位になるなど、南高選手が６種目で入

賞する活躍で、長野県がスケート競技（スピード、ショート、フィギュア）で３年連続となる男女総合優勝（天皇杯）、女子総合優勝（皇后杯）に輝きました。

岩本教育長：　以上、私からの報告とさせていただきます。今ご報告申し上げた点について、何かご質問、ご意見等ございましたらお願いをいたします。

草間職務代理者：　インフルエンザの学級閉鎖についてですが、学校によって１日から５日の休みということでしたが、休みの日数は、どういう基準で決めるのでしょうか。

岩本教育長：　基本的には学校医の先生と学校長が相談をして決める訳ですけども、例えば、子ども達が金曜日に休んだ場合は、土曜日、日曜日と休みが入りますので、そうすると学校医の先生と相談して、４日間あればいいよということになれば月曜日までとか、そういった形の中で長短が決まります。

それでは、本日の議事に移りたいとお思います。

○議　　題

１．岡谷市立小・中学校管理規則の一部改正について　　（教育総務課）

岩本教育長：　議題１について事務局より説明をお願いします。

＜事務局より岡谷市立小・中学校管理規則の一部改正の内容について説明。＞

岩本教育長：　只今の説明について何か質問はありますでしょうか。

太田委員：　道徳ではなくて「特別な教科である道徳」とありますが、この「特別な教科」というのはどういう意味でしょうか。

事務局：　資料４ページの一番下の部分にも記載がありますが、従来の教科との差異性を示すために「特別の教科」として位置付けたという形です。

太田委員：　従来の教科との差異ということは、従来の教科と何か特別に違うことがあるのでしょうか。

岩本教育長：　道徳というのは、むかしからあります。そして、それが教科として新しい学習指導要領で位置づけられたということで、「特別な教科」ということが形容詞として付いたんですね。

太田委員：　では、新しく位置付けられたというような意味合いで捉えればいいのでしょうか。

岩本教育長：　そうですね。今までは、教科ではなかったので、評価とかそういったことはきちっとしていなかったんですが、これからは国語や数学とかと同じように評価がされ、そして、教科書も使われます。そこで、「特別な教科」ということで、今までの教科の道徳との違いを明確にしているということです。

他によろしいでしょうか。それでは、教育委員会としてこれを了承していただけたということでよろしいでしょうか。

【承　認】

岩本教育長：　ありがとうございます。それでは、次の議題に移ります。

２．学校給食の現状と取り組みについて　　（教育総務課）

岩本教育長：　議題２について事務局より説明をお願いします。

＜事務局より学校給食の現状と取り組みについてと給食費徴収・管理業務について説明。＞

岩本教育長：　まず、学校給食関係の説明について、何か質問や意見、感想等ありましたらお願いいたします。

太田委員：　岡谷市の給食については、かねがねとっても素晴らしいと思っていますし、私も事業で飲食を扱わせていただいていますけど、衛生管理とかも見ても、一般の飲食店以上に子ども達のためにということも含めて、厳重に管理なさっているということが良く分かります。本当に頭が下がる思いです。こうやって内容を知れば知るほど、岡谷市の学校教育にとって、今の現状の給食のシステムというのは、本当に宝物だなという風に思います。私も教育委員という立場ですので、この体制がずっと維持をしていけるように改めて努力していかなければいけないなあとそんな風に思わせていただきました。私共もそんなつもりでおりますので、今後とも引き続きよろしくお願いしたいと思います。ありがとうございました。

髙 木 委 員： 給食を栄養士の先生方が、お一人お一人個性を生かした献立を作ってくださっているというのも、子ども達もとても楽しみだと思うんですけども、実際のこうやって作ってくださっている現場を見せていただくと、ここまで衛生面や色々なことに気付けてくださっているんだなということに、本当に感動もしますし、とてもありがたいことだなあと思います。冷たいものは冷たいままで、温かいものは熱々で毎日毎日提供してくださるので、作る上で時間との戦いということもあると思うんですけども、それを時間ピッタリにいつも作って出してくださっていて、本当にありがたいことだなと思います。岡谷の子ども達は幸せです。ありがとうございます。

藤 森 委 員： 栄養士の先生方には、本当に子ども達のために毎日おいしくて安全な給食を提供していただいていて、この場を借りて御礼を申し上げたいと思います。他の委員さんからもありましたとおり、資料を拝見しまして、想像以上に安全面や栄養面にお気遣いをしていただいていて、ご苦労されているなあというところをあらためて感じとった次第です。地産地消ということで地元産の野菜であったりとか、そういったものをたくさん使っていらっしゃるというような話の中で特に感銘を受けたのが、実際に野菜を作っている生産者の方と子ども達が交流を持ったりとか、そういったところでまた、学ぶ機会を得ているというところが本当に素晴らしいことだなあという風に思いますし、普段何気なく食べているものをこういう人達が苦労しながら作っているんだなあというところを、子ども達が分かるということも、本当に素晴らしいことなんじゃないかなあと感じました。ありがとうございました。

橋 爪 委 員： 私も今、太田委員さんが宝物だなあとおっしゃられましたが、本当にそのとおりだなあと思っております。是非、長く続けて大切にしていっていただけたらと思っております。食に絡めて子ども達を教育していくという意味合いも盛ることが出来る大切な場面かなあと思いますので、今、していただいているような形で進めていただけたらという願いも込めて、この場でお伝えしておきたいと思います。ありがとうございます。

草間職務代理者： 本当に岡谷の給食というのは、栄養士さんがそれぞれ作っていただいているということで、全国的に見ると財政面などで、セントラルキッチンという方向に進でいるんですけど、是非、岡谷は、各学校での給食を守っていただいて、食育という部分を子ども達に教えていただきたいと思っております。

２点お伺いしたいんですが、１点目は、一時期セントラルキッチンにしたらほとんど給食を残したというようなことが話題になりましたが、岡谷の給食の場合は残食量はどの程度でしょうか。２点目は、アレルギーについてですが、だいぶアレルギーも持つ子どもが増えているようですが、どんなアレルギーが増えているのでしょうか。

事 務 局： １点目の給食の残食量についてですが、岡谷田中小学校では、ほとんどない状況なので、あっても１パーセントから２パーセントだと思います。これは、他の学校でも同様だと思われます。

２点目のアレルギーについてですが、何のアレルギーが増えているということは言えないんですが、人数が増えているという状況です。ただし、学校によって様々で、アレルギーも持つ子どもが多い学校もあれば、少ない学校もあります。

草間職務代理者： 突然、小学校の間にアレルギーが治るというようなこともあるんですか。

事 務 局： 成長するにつれて食べられるようになるお子さんもおります。卵、牛乳、小麦粉なんかは少しずつ食べられるようになって、小学校の途中で食べられるようになったお子さんも実際にいますが、逆に突然アレルギーになるお子さんもいるので、お子さんよって様々です。

岩本教育長： 次に、給食費徴収・管理業務関係の説明について何かご質問がございますか。

草間職務代理者： 年度が入っていないですが、今年概算要求して岡谷市がそういった方向に行くということですか。

事 務 局： 国の方で、平成３０年度にガイドラインを作成していくための予算要求をしていくということですので、ガイドラインが来年になるのか再来年になるのかというところですが、国の方から示された内容で、岡谷市が検討していくという形になろうかと思います。

太 田 委 員： 私もＰＴＡを経験させていただいた時に、年度末になって先生方が非常に給食費の集金で大変な思いをされていらっしゃるということを実感できたものですから、できる限りこういう形で移管ができれば望ましいかなあと思います。

岩本教育長： 色々な意見ありがとうございました。岡谷市の学校給食は、みなさんのお陰で本当においしくて、安全な給食をお出しするこが出来ているんですが、課題もございます。例えば、今、福井県では豪雪で色々なライフラインがストップしておりますが、万が一電気が止まったり、或は、調理員が大勢集団感染してしまったり、或は、毎朝水道水の残留塩素を量っている訳ですが、ある程度の基準以下だと水が使えない訳です。そういった時には給水車等で対応したいと思いますが、それだけでは水が足りないという状況もあります。地震等の災害もそうですが、色々な緊急事態になったときに、給食が出来ないとい状

況も出てきます。そんな時に、子ども達の給食に代わるものを確保するということは、危機管理の上で大変重要なことだと思っております。そんな点をこれからしっかりと教育委員会としても準備をしていく必要があるのかなあと思っております。

それから、ご承知のとおり、今、野菜が物凄く高い。多分、栄養士の先生も計算が大変だと思います。しかも、インフルエンザが流行っていて、登校停止になると給食費を返さないといけない。その計算も全部やらなければいけない。年度末で一年間の色々な予算等も合わせて最後きちっと帳尻が合うようにしていかないといけないので、大変な時期を迎えているのかなと思いますが、そういった会計のシステムについても、栄養士さんだけに負担がいくのではなくて、もう少しなんとか応援出来るよう体制が出来ないかなあというところも課題です。そんな訳で、色々な課題がありながらも、こういった給食が出せることは、本当にありがたいことだなあと思っておりますので、更にみんなで知恵を出し合っていきたいなあと思います。それでは議題２につきましては、以上とさせていただきます。次に報告事項に移りたいと思います。

○報　告

１．岡谷市立小中学校における外国語指導助手等派遣業務プロポーザル実施要領について　　（教育総務課）

岩本教育長：　報告事項１について事務局より説明をお願いします。

＜事務局より岡谷市立小中学校における外国語指導助手等派遣業務プロポーザル実施要領について説明。＞

岩本教育長：　何かご質問、ご意見等はございますか。

太田委員：　プロポーザルについてなんですが、簡易公募型というのは、普通の公募型と違うのでしょうか。

事務局：　国では金額を定めておりますけども、ある程度規模や金額が多いものについては通常の公募型のプロポーザルになりまして、規模が小さいものについては、その分期間等も短く、金額等も少なく設定出来るものですから、簡易公募型のプロポーザルという形になります。

草間職務代理者：　今のＡＬＴとまったく違うんですか。

事務局：　雇用形態が変わってきます。今までは市の職員として教育委員会が採用していたんですが、これからは、業者から派遣していただく中で、勤務をしていただくという形になってまいります。指揮命令系統も派遣業務ですので、教育委員会、或は、校長先生からの指揮命令系統の下で勤務をしていただけるということと、今までは、嘱託職員ということで、１日５時間４５分しか勤務出来なかったんですが、派遣業務になるとフルタイムで勤務出来るようになりますので、そういったところで新しい時間の増に対応するために、こういった形に変えさせていただきました。

岩本教育長：　現在、小学校５、６年生が外国語活動を３５単位時間やっていますが、移行措置により、来年はプラス１５時間で５０時間英語の勉強をするということになります。それに伴って、ＡＬＴも全時間配置をするということで、かなり時間数が必要になってきますので、それに対応するためにこういった形でやっていくということになります。

藤森委員：　英語支援アドバイザーという職は、どういったことをやられるお仕事なんでしょうか。

事務局：　先生の補助という形で、小学校の先生は専科の先生ではないものですから、なかなか英語のカリキュラムを組んだりすることが難しい部分がありますので、そのための指導や助言が出来るような人を派遣していただいて、先生にアドバイスをしていただいたり、先生達の研修を担っていただきます。移行期間の２年間は先生達の負担も大きいので、負担や不安を解消するために、２年間の措置でアドバイザーをお願いしました。

岩本教育長：　それでは、次の報告事項に移ります。

２．岡谷市議会１２月定例会一般質問要旨について　（各課）

岩本教育長：　報告事項２について事務局より説明をお願いします。

＜事務局より岡谷市議会１２月定例会一般質問要旨について説明。＞

岩本教育長：　何かご質問、ご意見等はございますか。よろしいでしょうか。
それでは、次にその他ということで、事務局からお願いします。

〇その他

・行事等について（各課）

＜各課より行事予定について説明＞

・その他

岩 本 教 育 長：　続いて委員の中でご報告等あればお願いいたします。

１．保育研修総会の報告（橋爪委員）

橋　爪　委　員：　報告ですが、先日、子ども課から案内のありました「保育研修総会」に行ってきました。保育士さんたちが、子どもたちのこういう力を伸ばそうという具体的な課題を意識されながら日々、体当たりで保育に取り組んでおられることを肌で感じ、あらためて、学校教育との連続性を大切にしていかなければと思いました。より一層、子ども課との連携を深めていかれればと思います。

２．岡谷田中小学校来入児一日入学　保護者交流「なかよしプログラム」振り返りについて

（髙木委員、藤森委員）

＜髙木委員、藤森委員から別紙資料により岡谷田中小学校来入児一日入学　保護者交流「なかよしプログラム」振り返りにについて報告。　＞

橋　爪　委　員：　この岡谷田中小学校来入児一日入学の機会をもって平成２９年度の保護者交流サポート事業はすべて終了いたしました。また別の機会で結構ですが、今後の継続実施に向けての進め方について再度ご相談がありますので、お時間をいただければと思います。よろしくお願いいたします。

岩 本 教 育 長：　本当に１年間みなさん自身がファシリテーターをしていただいてありがとうございました。校長先生方からも色々な意見を聞くと、保護者同士がまずは仲良くしないといけないなあという意識が大分高まってきているという話も聞いておりますので、きっとみなさんが、頑張っていただいたことが着実に実っているのかなあと思っております。ありがとうございました。

それでは、事務局より次回の開催予定についてお願いします。

＜次回開催日の調整＞

岩 本 教 育 長：　それでは以上をもちまして、２月の定例教育委員会を終了とします。

終了１５時２５分

岡谷市教育委員会会議規則第２３条により署名する。

平成30年 3月 9日

教　育　長　　岩本博行

署名委員　　草間吉幸

署名委員　　橋爪園美

調製職員　　吉澤洋人

教育委員会２月定例会資料（報告）　　平成 30 年 2 月 9 日

岡谷田中小学校来入児一日入学　保護者交流「なかよしプログラム」振り返り

対象：岡谷田中小学校来入児保護者
目的：保護者同士の仲間意識を高める
日時：平成 30 年 1 月 30 日〈火〉　15：10〜15：30（20 分間）
　　来入児一日入学に合わせ、その後の保護者会の枠の中の終わりの 20 分間。
場所：集会室
ファシリテーター：藤森一俊（教育委員）　髙木千奈美（教育委員）
参加者数：４９名（２名欠席）
ファシリテーション内容：「ウォーミングアップの手あそび」「握手でこんにちは」
　　「お仲間さがし」「みんなで輪」
託児：対応なし（同伴幼児無し）

振り返り

・来入児の人数が昨年度より減少していることもあり、保護者も全体の方の顔を見渡せるくらいの人数で、交流しやすかった。

学校からの感想

・入学に向け、たくさんの資料を元にじっと話を聞いていてかたかった空気感が、ウォーミングアップの段階でほぐれ、表情がやわらかくなった。保護者のぎこちなさが消え、和やかな場になった。その後の入学式の挨拶をする保護者を選出する時も、みな笑顔でスムーズに選出できた。
・その場では、なんとなく「(出身地が）遠くから来ているお母さんがいるんだな」と思うだけで終わるかもしれないけれど、それが入学してからつながってくることもある。その時の種まきをしていただいた。
・この交流プログラムは、保護者会の最後より最初に行うほうが、より効果的ではないかと感じた。

成果

・「握手でこんにちは」も最初とまどっている保護者も見受けられたが、周りの保護者に声をかけられ、輪の中に入っていった。20 分間という限られた時間であったが、保護者同士顔を見合わせ一端を知り合うことで、お互いを仲間として意識していただけたのではないかと思う。

課題

・岡谷田中小学校では、来入児保護者の交流に関しては、ファシリテーターをコミュニティスクールの範疇で考えていきたい、と希望されている。継続的に実施できる体制づくりを引き続きサポートしていきたい。